

第1回 魚津2040会議 報告書

【開催状況】

- 1 開催日時 平成31年4月18日（木）19:00～21:00
- 2 開催場所 魚津市役所2階 第1会議室
- 3 出席者 別紙のとおり

【会議内容】

- 1 開会
- 2 メンバー紹介
- 3 室長挨拶
- 4 議題
 - (1) 市の財政状況等について
 - ① 2040会議の意義・役割・進め方
 - ② 財政状況について
 - (2) 公共施設のあり方等について
(グループワーク：メンバー4グループ＋市役所若手有志1グループ)
- 5 次回の会議日程
- 6 閉会

【以下、意見等】

○施設全体に対する主な意見

- ・ 利用料の増は必要だが、利用者が減らないラインの見極めが必要。安易な利用料アップはよくない。近隣他市の類似施設等と比較はすべきだが、サービス内容と照らし合わせて決定する必要がある。逆に希少価値のある施設は値上げをしても良い。
- ・ 利用料増額と施設の魅力アップをセットで考えるべきである。維持する施設は、単に維持するだけでなく付加価値をつけていくことが重要。民間では、長期間同じ内容だけで利用者数を維持できるという考え方はない。
- ・ 利用者が多いから維持、少ないから廃止、という考えはナンセンス。指針とすべきは、代替できる施設が民間含めてあるかどうか。特に、民間に類似施設がある場合は、行政が民業を圧迫しているのだという現状を理解する必要がある。
- ・ 代替できる施設に関しては、市内だけでなく近隣他市も含めて考えるべき。例えば、プールは黒部、野球場は魚津、といった調整を行政でしていく時代となっている。
- ・ 魚津市は、施設が点在しすぎている。集約により、相乗効果が生まれる施設も多いのでは。
- ・ 利用者の声を聞くことなしに、施設の存廃を議論することはできない。
- ・ 人口減少を防ぐためにも、子どものための機能は維持すべき。
- ・ 普段、何気なく公共施設を使っているが、これほどまでに赤字額があるとは知らなかったことで、現状を知ることができたこと、今後の公共施設のあり方について考えることができただけでも貴重な場となった。

○各施設に対する主な意見

施設名		各グループにおける主な意見	
		傾向	意見
1	総合体育館	大多数が廃止	<ul style="list-style-type: none"> ・廃止を支持する主な理由は、市内に類似施設（ありそドーム）が存在すること。 ・課題は、子供向けスポーツスクール、年配向け介護予防スクールなど、既存利用者の代替施設の確保。 ・今後の検討事項は、代替施設として旧小学校が利用できるか。実現にいたっていない理由を知りたいとの意見が出た。
2	温水プール	多数が廃止	<ul style="list-style-type: none"> ・廃止を支持する主な理由は、市内に民間施設が2つ、隣接市にも比較的新しい施設があること。 ・課題は、保育園活動や部活動を含む、既存利用者の代替施設の確保。 ・維持（建替）を支持する意見としては、ありそドームに併設し、利用料増や観光施設的な位置付けをして一体的な利活用を行うことで、適正な運営に繋がるのではないかとの内容。ただし、その場合も民間スポーツクラブによる運営を検討すべきとの意見もあった。
3	吉田グラウンド・弓道場	大多数が廃止	<ul style="list-style-type: none"> ・廃止を支持する主な理由は、収入がほとんどないことと、総体とプールが無くなる中、維持管理が困難であることや跡地利用を進める必要があること。 ・課題は、弓道場の扱い。代替施設があるのかどうかが知りたいとの意見が出た。
4	ありそドーム	大多数が維持	<ul style="list-style-type: none"> ・維持を支持する主な理由は、総体を廃止すること。 ・今後の検討事項は、利用料金の適正化や他分野のテナントを入れることによる収入増、不要な機能（民間に類似施設の多いトレーニングジムや、展望台など）の廃止など。
5	桃山運動公園	多数が維持	<ul style="list-style-type: none"> ・維持を支持する主な理由は、吉田グラウンド、天神山野球場を廃止すること。 ・今後の検討事項は、利用料金の適正化による収入増と、ロケーションを活用した運営など。 ・一方で、隣接市にも代替施設があることから、廃止を支持する意見もある。 ・新川学びの森天神山交流館と天神山野球場などを総合的に活用する場合は、逆に桃山運動公園が不要になるなど、魚津市全体で維持する施設と廃止する施設を決める必要がある。

6	天神山 野球場	維持と 廃止が 拮抗	<ul style="list-style-type: none"> ・廃止を支持する主な理由は、収入がほとんどないこと、類似施設が存在すること。 ・維持を支持する主な理由は、大学女子野球の会場として定着していること、新川学びの森天神山交流館を含め、文化・スポーツの拠点として多目的用途での利用可能性があること。 ・今後の検討事項は、地区や野球協会等による管理や、利用料の増額について。
7	新川学 びの森 天神山 交流館	多数が 維持	<ul style="list-style-type: none"> ・維持の意見が多数を占める。主な理由は、音楽機能の類似施設が近隣に存在しないこと。新川文化ホールは代替施設とならない。廃止を支持するグループにおいても、代替施設における機能の維持が課題として出ている。 ・今後の検討事項は、使用料の適正化による収入増と、施設の活用方法。周辺自治体を含めても希少価値が高いため、使用料の増は受け入れられやすいとの意見。私立学校等の誘致という案もあった。 ・現在の方針である部分的な廃止は非効率的であり、廃止にするならば全てするべきとの意見もあった。
8	歴史民 俗博物 館・吉 田記念 郷土館	大多数 が廃止	<ul style="list-style-type: none"> ・廃止の意見が大多数を占める。主な理由は、施設に魅力がないこと。 ・今後の検討事項は、今後の資料の保管及び展示について。再編方針において小学校跡地へ集約という方向性が出ているが、学校にこだわる必要はなく、図書館や埋没林館等に機能を移し、移転先の入館者増加にわずかでもつなげてはどうかとの意見もあった。
9	埋没林 博物館	維持と 廃止が 拮抗	<ul style="list-style-type: none"> ・維持と廃止の意見が拮抗。・廃止を支持する主な理由は、収入が少ないこと、一般的な層への訴求力が弱いこと。水族館に埋没林を持っていき、水関係の施設を集約できれば運営しやすいという意見もあった。 ・維持を支持する主な理由は、水族館を含めた海沿いの施設・景観が魚津市の一番の特色であること、リニューアルやカフェ併設を経て魅力的な施設になっていること。 ・今後の検討事項は、機能縮小及び経費削減と、会議室などの多用途利用。歴博等の他の機能を入れる案や、思い切って全部無料にして、支出の部分を大幅にカットする案も出た。
10	水族博 物館	大多数 が維持	<ul style="list-style-type: none"> ・維持の意見が大多数を占める。主な理由は、希少性。 ・今後の検討事項は、使用料の適正化と魅力向上。ただし、利用者の層や求めるサービスが違うことから、近隣の水族館に合わせた使用料増は難しいとの意見も。 ・どういう人をターゲットにしていき、そのためにどのような内容の展示をしていくのかを考えるべきとの意見があり、特に、子育て面で魅力的と感じてもらえる取り組みを要望する意見もあった。

魚津 2040 会議 メンバー

	分野	氏名	所属等	出欠
1	青年団体	関口 雄介	新川青年会議所理事長	
2	〃	大崎 正貴	商工会議所青年部会長	欠席
3	産業関係	酒井 洋和	連合富山QFS委員会	欠席
4	〃	富居 芳弘	青年農業士（りんご）	
5	女性関係	阿部 ともみ	※SODO	
6	〃	大島 恵	※SODO	
⑦	福祉施設関係	成瀬 香里	道下保育園 保育士	
⑧	〃	柿本 尚子	社会福祉協議会職員	
⑨	学校施設関係	浦田 さおり	市PTA連合会長	
⑩	〃	溝口 祥子	上中島地域振興会	
⑪	〃	前田 尚成	ら・こんせーる・のくちゅーる	代理出席 (山岸 弘美)
⑫	公民館関係	長谷川 恵理子	上野方公民館書記	
⑬	体育施設関係	三谷 智輝	スポーツ推進員	
⑭	〃	澤田 樹孝	うおづスポラ	
⑮	文化施設関係	伊東 信一	利用者代表	
16	三太郎塾OB	浜田 孝司	MATINオーナー	
17	財務関係	荒地 浩志	会計事務所	
18	新成人等	長勢 将	成人式実行委員会	
19	新成人等	椎名 宥喜	成人式実行委員会	
20	新成人等	井出 寛子	成人式実行委員会	欠席
	市役所	池田 英史	公共施設再編推進室	
	〃	清水 雅大	〃	
	〃	石川 竜也	商工観光課	
	〃	高瀬 大樹	地域協働課	

○は施設関係